



親子で看護学生体験してみませんか

県立石見高等看護学院で「親子スクール」を開催します。親子での体験を通して看護に対する理解を深め、将来の職業選択について考える一助となればと思います。

参加費は無料です。

- ★ 看護学院での授業を体験しよう！
- ★ 看護の技術を学ぼう！
- ★ 看護師についての疑問解決！（☆お菓子を食べながらおしゃべり）



〈参加対象者〉

益田市内の小学校に通う、来年度の新5・6年生とその保護者1組（2名）15組（30名）

※保護者の方が子ども2名（兄弟や他のお宅の子ども）を連れての参加はできません。

〈開催日時・場所〉

日時：3月24日（土） 9:30～12:00（受付 9:00～9:20）

場所：県立石見高等看護学院（昭和町20番15号）

〈申込方法〉 電話で申込みください。 県立石見高等看護学院 ☎ 23-2614・☎ 23-2615

〈申込期間〉 1月25日（休）～2月28日（休）

※定員に達した時点で受付を終了します。あわせてホームページでお知らせします。

地域医療を守る住民団体等連絡会 in 益田が開催されました！

11月25日（土）に、「平成29年度地域医療を守る住民団体等連絡会 in 益田」が市立保健センターで開催されました。

この連絡会は、島根県内の各地域において、地域医療を守り育てる活動に取り組む住民団体等が情報交換を行うことにより、それぞれの活動の充実を図り、将来安心して暮らすことができる社会の実現を目指して、住民団体の持ち回りで開催しています。今回は益田の医療を守る市民の会が主催し、県内の住民団体や市民約130名が参加しました。

第1部の講演会では、「未来につづく命と医療を守るために～子どもも大人も安心して生きる社会を～」と題し、くろたに内科クリニックの黒谷浩史院長が講演を行いました。黒谷院長は、身体を治しているのは医師ではなく「自然治癒力」であり、現代社会には「自然治癒力」を弱めてしまう「社会毒」があふれていること、地域医療を守るためには、住民全体の「健康度」の底上げが必要であり、そのためには「現代食」をはじめとした「歪んだ社会の在り様の問題」を自らの頭で考えられる住民が増えていくことが必要だと話されました。

第2部では、島根大学医学部地域医療支援学講座の佐野千晶准教授と、島根県内の住民団体の方々が「地域医療を支える住民組織活動のこれからの方向性」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

連絡会に参加した島根大学医学部の学生は、その後に開催された交流会で「皆さんの活動への思いを聞き、医師として島根に貢献する気持ちがさらに強くなった。」と話してくれました。

連絡会を通じて、それぞれの地域の活動が活発となり、地域医療が充実していくことを願っています。

